



観光研究に大きな影響を及ぼしつつける「まなざし」の概念。それは提唱されて以来、どのように進化し、各分野に影響を与えてきたのでしょうか。多様性、モビリティが更に高まる今日におけるこの概念の重要性について、『The Tourist Gaze 3.0』の共著者である Professor Jonas Larsen とともに考えていきます。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

*セミナーは英語で行われますが、質問は日本語でご参加いただけます。

*参考文献は次の通りです。

Larsen, J. (2014) The Tourist Gaze 1.0, 2.0 and 3.0. In Lew, A., Hall, M and Williams, A. The Wiley Black Companion to Tourism. John Wiley and Sons.

*会場、および資料準備の都合により、事前の参加申込が必要です。下記問い合わせ先まで、E-mailにてお申し込みください。(参加費は無料です)

*7月13日(水)13時10分からは、「Sustainable Mobility in Japan」と題した、研究者・大学院生向けのマスタークラスも開催いたします。詳細は別途案内をご覧ください。

和歌山大学国際観光学研究センター、観光学部 主催
観光教育研究セミナー 2016 Vol.3

Sustainable and Critical Tourism Studies Re-visiting the Tourist Gaze

2016年 7月12日(火)
16:30 ~ 18:00

会場 和歌山大学
国際観光学研究センター会議室
(経済学部南棟1階 107会議室)
(和歌山市栄谷930)

講師 Professor Jonas Larsen

Professor in Mobilities and Urban Studies
Department of People and Technology,
Roskilde University, Denmark.



モビリティ、ツーリズム、写真などの分野で著書多数。主な著書、共著書に The Tourist Gaze 3.0(観光のまなざし); Performing Tourist Places; Mobilities, Networks, Geographies; Tourism, Performance and the Everyday: Consuming the orient; and Digital Snaps: the new face of Digital Photography など。地理、デザイン、サイクリングやランニングに関するモビリティを研究の中心としている。

参加申込・お問い合わせ先

和歌山大学 国際観光学研究センター

〒640-8510 和歌山市栄谷930 経済学部南棟1階

TEL/FAX: 073-457-7025

E-mail: info-ctr@center.wakayama-u.ac.jp

HP: <http://www.wakayama-u.ac.jp/ctr/>